

No. 24号 ひらつかの風

2022年1月号
(令和4年)

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちや、これから活動しようとしている人たちを応援します。

CONTENTS

- P.1……………新年のごあいさつ・平塚市情報
- P.2～P.6……………センターレポート『ひらつか市民活動推進月間』開催報告
- P.4・P.8……………平塚市情報・センター情報

センター
レポート

『ひらつか市民活動推進月間』開催報告



ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、人々の暮らし方や働き方を改めて考え直すきっかけとなりました。また、地域社会は人と人のつながりが欠かせないことも実感したことがあります。まだまだ予断を許さない状況ですが、こういう時こそ市民活動の出番です。困難を抱える人々に寄り添い、支え合い助け合える地域をみなさんと共につかっていきましょう。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

センタースタッフ一同

平塚市情報

御寄附をいただきました!

この度、平塚信用金庫様から「平塚市協働のまちづくり基金」へ10万円の御寄附をいただきました。

…この基金は市民活動団体や地域団体による公益的活動への補助等に活用されています。



11月10日(水)に開催された贈呈式後の写真。
(落合平塚市長と平塚信用金庫の曾我専務理事)

センター
レポート

『ひらつか市民活動推進月間』

11月1日(月)

11月30日(火)

— こんな時こそ 新たな出会いで 輝くあなた — **開催報告**



今年こそは「ひらつか市民活動センターまつり」を開催したいと、5月に実行委員会を15団体18名で発足しました。実行委員長大垣明子さん(平塚の図書館を考える会)、副委員長永澤陽子さん(NPO 法人フラワーセラピー研究会平塚支部)を中心に、感染対策を徹底した上で、おまつりを開催しようと準備を進めてきました。

しかしながら、8月の感染症拡大による緊急事態宣言・まん延防止措置の発令により、実行委員会、平塚市協働推進課と協議を重ねた結果、やむなく中止の決断に至りました。出展を楽しみにしていた団体さんからは「残念だが仕方がない」「来年に期待しよう」と、理解を示していただきました。実行委員会からは「止めるのは簡単、せっかくおまつりをやろうと決めたのだから、昨年のように市民活動をPRするイベントをやろう!」との声があがり、急遽、11月の1ヵ月間を「ひらつか市民活動推進月間」とし、地域の課題に取り組んでいる市民活動団体に関する情報や活動内容を、より多くの市民の皆さんに知っていただきたいと、企画を練り直して開催しました。

11月28日(日)午前『市民活動フォーラム』を会場とオンラインで繋いで実施、午後にはリアルで繋がる『防災座談会』を開催しました。

市民参加による「我が家のお弁当自慢コンテスト」には32枚のお弁当写真がエントリーされ、投票数は293票、第4回となる「チラシ大賞」は16団体がエントリー、投票数は391票でした。また、ポスター展には18団体が出展しました。「我が家のお弁当自慢コンテスト」「チラシ大賞」は11月28日(日)に表彰式を開催し、受賞者には賞品が贈られました。表彰式での、受賞者の皆さんのにこやかな笑顔が印象的でした。賞品をご提供くださった企業・団体の皆様には、この場をお借りして御礼申し上げます。ご協力ありがとうございました。

チラシ大賞

1

大賞
平塚友の会



2

第2位
豊かな海と暮らす平塚市民の会



3

第3位
認定NPO法人 WE21 ジャパンひらつか



特別賞

ひらつか市民活動センター 特別賞
日本吹き矢連盟湘南なぎさ支部



◆チラシ大賞エントリー団体 (16 団体)

- ナパサクラブ
- 豊かな海と暮らす平塚市民の会
- 演劇集団群生
- 平塚友の会
- 認定NPO法人 WE21 ジャパンひらつか
- NPO法人 フラワーセラピー研究会
- 留学生と語り合う会湘南平塚
- ひらつか防災まちづくりの会
- 平塚花のまちづくりの会
- NPO法人 平塚のら猫を減らす会
- NPO法人 しえんのまなび舎
- NPO法人 湘南 NPOサポートセンター
- 日本吹き矢連盟 湘南なぎさ支部
- 湘南いきいきリンパの会
- 平塚市介護の会「はまゆう」
- 湘南日台未来交流協会

我が家のお弁当自慢コンテスト

1

大賞 加藤牧子さん



2

第2位 鹿野恭子さん



3

第3位 鈴木久恵さん



P.7 に続く

ひらつか市民活動推進月間

市民活動フォーラム

「若者のボランティア活動

～取材を通して得られたこと～」



ひらつか市民活動センターで発行しているボランティア情報誌「ひらつかの空」第2版を発行するにあたり、団体の活動をより多くの方々に知ってもらうために、若者（学生）目線も必要であると考え、市民活動団体の取材から編集・発行に至るまで約9カ月間、携わっていただきました。

令和3年11月28日（日）、若者たちの活動の成果を市民活動団体の皆さんに聞いていただきたいと、ひらつか市民活動推進月間の事業の一環で、「若者のボランティア活動～取材を通して得られたこと～」と題してフォーラムを開催、取材から編集作業まで携わっていただいた3名の大学生に登壇してもらい、成果発表会を実施しました。当日の報告会の様子を皆様にお伝えします。

取材を通して感じたこと・得られたこと…（団体名は敬称略）

■大久保遊さん（大学2年生）

私は大学で生涯学習論を学びボランティアの大切さを知った事、大学の先生の推薦（平塚はボランティアが盛ん）もあり、湘南NPOサポートセンターに連絡を入れました。今は、WE21ジャパンひらつかでボランティア活動をしています。元々、貧困問題など海外支援による国際貢献と地球温暖化による環境問題に興味があったので、取材先には「NPO法人WE21ジャパンひらつか」と「金目川水系流域ネットワーク」を選びました。

取材にあたっては、コロナ禍にあっても現場の雰囲気や大事だと考え、色々な人の意見を聞いたうえで対面での取材を行いました。当初は、電話連絡をして取材日程の調整や、目上の人に接する事など不安はありましたが、取材を通して感じたことは、団体さんそれぞれに熱意があることがわかり貴重な経験になりました。

全体的には、ボランティアは敷居が低く手続きも簡単であり、今すぐ始められると思いました。



■鈴木順也さん（大学2年生）

コロナ禍で大学に通うことが出来なかったが、何か新しいことを始めたいと考えていました。大久保くんから誘いがあり、今回のボランティアに参加しました。私は地域貢献の中でも「楽しそう」「若者にも親しみやすそう」を自分の基準に置いて、「NPO法人平塚のら猫を減らす会」、平塚市観光協会の「観光サポーター」、NPO法人湘南NPOサポートセンターの「地域魅力ネット」を取材先を選びました。

取材を通して、各団体が情熱を持って取り組んでいること、ボランティアについては、何事も考えるだけではだめであり実際行動に移すことが重要であり、そして何より地域とのつながりが必要であると感じました。



■徳永大地さん（大学3年生）

大学にもボランティアサークルはありますが、組織が大きすぎて自分が主体的に何かするというより、やらされている感があり疑問に感じていました。今回、自分の意見・意思が生かせると考え参加させて頂きました。

私は学習塾のアルバイトの経験があり、塾には勉強だけではなく「居場所」としての大切さがあると感じていたのと、子どもが大好きなので、「子ども学習支援グループ 須賀の寺子屋」と「親と子の寺子屋 ふれあい自遊塾」を取材先を選びました。

今回の取材では、取材迄の日程調整が難しかったですが、とても勉強になりました。また、ボランティアに一人で参加するのは怖いと感じている人にも、「自分に合ったボランティアは必ず見つかる」と、仲間の背中を押してあげたいと思います。



ひらつか市民活動推進月間

学生たちの報告の後、団体の皆さんから感想・質問を頂きました。

「我々大人が気が付かなかった視点があり、とても新鮮で有益だった」「若い人が来てくれると雰囲気も違うし会にも幅が出る」「長続きさせるコツは ①楽しく、②身の丈にあった活動、③他人との違いを認め意見を尊重する」「次世代にアピールしないと続かないので若い人とつながるスタートになると良い。今後も継続を願っている」「今回の経験を活かして行って欲しい。時間を有益に使い様々な分野にひろめて欲しい」等々、貴重な意見や感想をいただきました。

学生たちからは、「楽しい」は重要であり、「個人の意見が尊重される」のは大事だと思う、これからは機会があれば友人に声をかけボランティアに誘ってみたい、と心強い決意を聞くことができました。



▲左から 徳永さん、鈴木さん、大久保さん



フォーラムへのリモート参加の様子

情報発信に幅が出てくると同時に若者とのつながりも進むのではないのでしょうか。

今回の取材活動を通して、若者たちが市民活動を知る第一歩となったと思います。センターとしては今後も若者世代に関わってもらいながら、市民活動の輪を広げていきたいと思っています。

取材から記事内容の校閲に至るまで、団体各位には大変お世話になりました。改めて御礼申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

「ひらつかの空」第2版、とても良く仕上がりました。学生たちへのインタビューも載っていますので、是非お手に取ってご覧ください。(※このページ下段で紹介しています)

取材活動を振り返って...

大久保さん...取材当初は不安でしたが、貴重な経験になりました。今後はもう少し活動の範囲を広げていきたい

鈴木さん...日程調整からフォーラムの場までとても貴重な体験でした。

徳永さん...自分がボランティアを広げていく立場になりたいです。

報告の中で、今の若い世代はInstagram・Twitterなどで情報収集・交換をしているとの話がありました。市民活動団体もそれらを積極的に活用することで、団体の

センター情報

● ボランティア情報誌 「ひらつかの空(第2版)」を発行しました!!!

「ひらつかの空」は、「ボランティア活動をはじめてみたい」「誰かの役に立ちたい」と思っている方とボランティアや会員を募集している市民活動団体や施設とをつなぐ役割となるように作成しています。「ひらつかの空(第2版)」では、平塚市在住の3人の大学生が制作に関わりました。ひらつか市民活動センターに登録されている約330団体から、7つの取材候補団体を選び、取材・写真撮影・記事作成など主体的に取り組みました。4頁から13頁に渡って紹介していますので、ぜひご覧ください。



ひらつかの空に掲載されている団体一覧

★保健・医療又は福祉の増進 (特非) NPO 成年後見湘南 M&J (社協) 神奈川県傾聴赤十字奉仕団 平塚分団 (特非) こぐまの会 (特非) スプラウト (特非) ぜんしん (特非) ニッポン・アクティブライフ・クラブ 湘南ブロック 平塚市手をつなぐ育成会 (特非) フードバンク湘南	★まちづくりの推進 平塚 花のまちづくりの会 平塚をみがく会 (特非) ひらつか八幡山の洋館を活かす会 食事サービス W.CO ごちそうさま (特非) 平塚のら猫を減らす会 (特非) 湘南 NPO サポートセンター	★子どもの健全育成 子ども学習支援グループ 須賀の寺子屋 (一財) 平塚 YWCA (特非) 未来経験プロジェクト 親子の寺子屋 ふれあい自遊塾
★災害救援 災害から未来(あす)を守る会 福島の子ととみに・平塚	★学術・文化・芸術又はスポーツの振興 あいあいリトミック 車椅子ハッピーダンス湘南 ケ・カイ・マル ボランティアグループ (社協) 木曜ランナーズ ひらつか文化財ガイドボランティア協会	★環境の保全 金目川水系流域ネットワーク (特非) 暮らし・つながる森里川海 子供と親の環境教室 地球っ子ひろば 相模川湘南地域協議会 里山をよみがえらせる会 湘南ねこの会 湘南の森
★人権の擁護又は平和の推進 平塚パトロール	★観光の推進 (一社) 平塚市観光協会	★社会教育の推進 秘密保護法を考える平塚市民の会
★国際協力 (特非) WE21 ジャパンひらつか カペラ日本語の会	★情報化社会の発展 (特非) ひらつか IT サポート	(特非): NPO 法人 (特定非営利活動法人) (一社): 一般社団法人 (一財): 一般財団法人 (社協): 社会福祉協議会



『防災座談会』



近年、地球温暖化による異常気象により自然災害の規模が大きくなっています。特に平塚市では7月3日の豪雨で全国初の警戒レベル5（緊急安全確保）が発令されるなど、水害への危機感が高まっています。そのような中、ひらつか市民活動センターでは、災害時の団体間の連携を促進するため、2019年度より平塚市社会福祉協議会との情報交換を続けています。

昨年のひらつか市民活動推進月間で実施した「防災フォーラム」は好評で、このような場を継続して開催して欲しいという声を反映し、今回は専門性を持って活動している団体にお集まりいただき、ネットワーク推進を目的に「防災座談会」を実施しました。

出席者は、平塚市崇善地区自治会連絡協議会会長、平塚市社会福祉協議会、平塚青年会議所（3名）、ひらつか災害ボランティアネットワーク（2名）、女性防災クラブ平塚パワーズ（2名）、災害から未来（あす）を守る会、ひらつか防災まちづくりの会（3名）、平塚中郡薬剤師会（防災部会：3名）、ウエルシア薬局 四之宮店（2名）、湘南 NPO サポートセンター（5名）です。尚、オブザーバーとして東海大学工学部土木工学科梶田教授にお越し頂きました。（団体名の敬称略）



■まず初めに各団体から近況についてお話しいただきました。（発言順）

ひらつか災害ボランティアネットワーク（斎藤さん、吉田さん）

ボランティアセンターの運営サポートを行い、防災訓練、「ひらつな祭」などに参加しています。各地のボランティアセンターがどのような運営をしているのか興味があります。また最近ではICTの活用でボランティアの登録受付、被災者の要望など、効率的になってきています。



女性防災クラブ 平塚パワーズ（菅野さん、木村さん）

自分の身の安全を守ることを第一に、防護服・段ボールトイレの普及、パワーズブックの製作、国際協力事業団（JICA）との連携もしています。パワーズブックは分かりやすく見やすいといった評価をいただいています。



ひらつか防災まちづくりの会（山田さん・西岡さん・添田さん）

災害から命を守るためには、自分たちの住んでいる地域がどのようなリスクがあるかを知るため、まち歩き・講演会などを開催しています。災害の際に情報を集める拠点を作れたら良いと思います。

平塚中郡薬剤師会（防災部会）（桐生さん・鈴木さん・笹尾さん）

災害時に薬剤師会として何ができるかを模索中です。7月3日のレベル5 発出時には、各店舗にアンケートを行い、1店舗は床上浸水になったとの報告を受けています。

ウエルシア薬局四之宮店（石庭さん、遠藤さん）

深夜営業を含め24時間営業も1店舗あります。それは、災害時に何か提供できることがあるのではないかと会社の方針でもありますが、それを提供するのに適した場所なのか再度見つめ直したいです。

災害から未来（あす）を守る会（能勢さん）

2011年の東日本大震災後、平塚が被災地になったら何ができるのかとの思いから立ち上げました。現在は防災関係の団体と連携して、被災地支援と地元の防災力アップを目的に「ひらつな祭」を開催しています。
（※ひらつな祭：ひらつかでつながるう＝ひらつな）

平塚青年会議所（森さん・大野さん・田代さん）

有事の際の連携及び協力のため、2019年平塚市、平塚市社会福祉協議会と三者協定を締結し、二宮・大磯とも三者協定を締結しました。その他、コロナ禍で防災訓練が困難でしたが、リモートでの防災訓練を実施しました。



ひらつか市民活動推進月間

平塚市社会福祉協議会 (津久井さん)

災害時ボランティアネットワークセンター(災害ボランティアセンター)は、平塚では立ち上げたことはありませんが、日々対応できるよう訓練をしています。現在、災害ボランティアの事前登録をすすめていますので、ぜひ、災害時ボランティアとして登録していただけますようお願いします。



平塚市崇善地区自治会連絡協議会 (栗原会長)

平塚市での自治会加入率は70%ほどです。昨今はコロナ禍の影響で防災訓練等、何もできていません。市の助成金については、有効活用するためにも防災器具の購入に充てたいと考えています。自治会としては、特に高齢者が各機関及び団体とどのように結びついていくのが課題であると考えています。



栗原会長

東海大学工学部 (梶田教授)

防災は事前準備ができていくかが重要であり、復興を含め大きな差が出ます。大学としても、地域団体との連携を行い、ICTを活用しながら情報を集め行政に情報提供できるようなネットワークを構築しています。



梶田教授

■近況報告後、参加者から活発なご意見等をいただきました。

栗原会長：住民と団体の関係性を今後どのように生かしていくかが課題であると思う。

ひとつの方法として、自治会の会議体に団体が参加し情報提供をする機会を設けたら良いと思う。崇善地区は、横浜ゴム・OKストアと協定を締結しました。

他地域にも企業との連携が広がればよいと思います。

能勢さん：防災のイベントは少しずつ広がりをみせ、認知されつつあります。出店されるキッチンカーの皆さんも災害時の炊き出しには不可欠な強力な戦力です。

西岡さん：例えば金目川の洪水について、雨の降り方の違いによりどこから浸水がどのように広がっていくか解るような情報基盤があればと思います。そこに過去から現在までの災害情報も統合化させ、生活に密着したデータベースの整備です。防災に関する情報を共有できる仕組みづくりが大事です。子どもたちの防災意識を高めていくことも大切です。洪水時には生活用水として、一番身近な地下水利用の検討も必要です。

■ICTの活用について

大野さん：現在はメンバーのみではありますがLINE WORKSを使用しています。

斎藤さん：平塚には平時から使える「みちれば」というサイトがあります。

梶田教授：大学でDITSというシステムを開発しましたが、現在改良中です。

■本日の防災座談会を振り返って

斎藤さん：今日のような試みは継続していきたいと思っています。

菅野さん：パワーズの講習会で、ある自治会にお邪魔し、おにぎりを作りました。ある高齢者は、おにぎりをお湯に浸して食べていました。(柔らかくなって食べやすくなる)現場にいと、様々な気づきがあります。

山田さん：災害時の連携・情報を集約し共有する仕組みが必要だと思います。

鈴木さん：薬剤師会としても市民全体の動きを知り、効率的に繋がりをしながら連携を模索していきたいです。

石庭さん：情報発信のツールとして、ウエルカフェを立ち上げています。今後は子ども食堂とのコラボレーションも視野に入りたいと考えています。

能勢さん：今回、新しい情報を得ることができ良かったです。今後は、みんなが顔を合わせることで情報交換などをする機会となったらよいと思います。

ちなみに、キッチンカーは単なる賑やかさだけではなく、災害時には炊き出しにも役立ちます。

森さん：情報発信が少し苦手な面があるのですが、情報共有の仕組みを作っていきたいと思っています。

津久井さん：それぞれ得意不得意をカバーし合うのが必要ではないかと思っています。

栗原会長：高齢者の支援がとても大事です。民生委員児童委員とも情報交換して欲しい。

梶田教授：それぞれの団体の長所を生かしつつ、情報交換し連携していくことが肝要です。

来年に向けて防災訓練を実施していこうと考えているので、学生の教育を含め是非連携をお願いしたいです。

2時間という短い時間での意見交換は充分とは言えませんが、「今後も継続した情報交換が必要である」、また「団体、市民の連携を始め行政とも一体となった平時からの取組みが必要である」との声が上がりました。一方で災害時は…特に「情報収集・共有・発信」が重要となってくるが、状況に応じた対応をどこが中心になって行うのか?などの課題も残されました。

今後もこのような機会を定期的実施し、多様な組織や団体が連携しながら、いざという時にさっと動ける体制づくりを目指していきたいと思っています。

ポスター展示会



◆ポスター展示会出展団体一覧(18団体)

- おもちゃの病院ドクターくるりん
- NPO法人 しえんのまなび舎
- 神奈川県社会福祉士会湘南西支部
- 平塚の図書館を考える会
- 湘南平塚白秋の会
- 食事サービス W.CO ごちそうさま
- 平塚市手をつなぐ育成会
- 平塚市介護の会「はまゆう」
- NPO法人 地球の木
- 平塚友の会
- 留学生と語り合う会湘南平塚
- 湘南日台未来交流協会
- 豊かな海と暮らす平塚市民の会
- NPO法人 WE 21ジャパンひらつか
- ガールスカウト神奈川県第2団
- 災害から未来(あす)を守る会
- NPO法人 湘南NPOサポートセンター
- ひらつか防災まちづくりの会

◆ひらつか市民活動センターまつり実行委員会の活動紹介

第1回実行委員会 6月18日(金) 18:00～19:30	<ul style="list-style-type: none"> ■ R3_センターまつりの企画検討会議 ■ 実行委員会発足、委員長・副委員長決め ■ 実行委員会日程確認
第2回実行委員会 7月16日(金) 18:00～19:30	<ul style="list-style-type: none"> ■ センターまつり企画内容の検討 ■ 団体出店内容の検討 ■ 参加団体募集について ■ 今後のスケジュール確認、その他
第3回実行委員会 8月20日(金) 18:00～19:00	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出店団体概要・備品確認 ■ 市民活動フォーラムの企画について ■ 今後のスケジュール確認、その他
第4回実行委員会 9月17日(金) 18:00～19:30	<ul style="list-style-type: none"> ■ センターまつり中止・代替企画の提示・承認 ■ 市民活動フォーラムタイムスケジュール ■ 広報スケジュールについて、その他
第5回実行委員会 10月22日(金) 16:30～17:40	<ul style="list-style-type: none"> ■ パーティションの設置 ■ 模造紙、ポスター掲示、お弁当写真展示作業
第6回実行委員会 11月12日(金) 17:30～19:00	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民活動フォーラムの進め方について ■ お弁当写真コンクール・チラシ大賞表彰式 ■ 防災座談会の進め方について
市民活動フォーラム ・防災座談会 11月28日(日) 10:00～16:00	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民活動フォーラム開催 ■ お弁当自慢コンテスト・チラシ大賞表彰式 ■ 防災座談会(午後)
片づけ作業 11月30日(火) 14:00～14:40	<ul style="list-style-type: none"> ■ 展示物の整理 ■ パーティションの片づけ
第7回実行委員会 12月17日(金) 16:00～17:00	<ul style="list-style-type: none"> ■ 反省会(事業報告) ■ 振り返りと次年度への提案・課題等

実行委員会の紹介(団体名のみ) 15団体 18名

- 平塚の図書館を考える会
- 一般社団法人 OHANA
- (社) 神奈川県社会福祉士会 湘南西支部
- 湘南いきいきリンパの会
- 平塚花のまちづくりの会
- 日本吹き矢連盟 湘南なぎさ支部
- ひらつか防災まちづくりの会
- NPO法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ 湘南ブロック
- NPO法人 フラワーセラピー研究会
- NPO法人 平塚のら猫を減らす会
- 医療生協かながわ
- NPO法人 湘南NPOサポートセンター
- 神奈川県傾聴赤十字奉仕団平塚分団
- 平塚市介護の会「はまゆう」
- 金目川水系流域ネットワーク

◆賞品をご提供くださった企業・団体(順不同)

- フランス料理マリー・ルイズ様
- 栂田中紙店様
- アートギャラリー能勢様
- 一般社団法人 平塚市観光協会様
- NPO 法人 平塚のら猫を減らす会様
- NPO 法人 フラワーセラピー研究会様
- 平塚花のまちづくりの会様
- ひらつか防災まちづくりの会様
- 日本吹き矢連盟 湘南なぎさ支部様
- 平塚の図書館を考える会様
- 湘南いきいきリンパの会様
- 金目川水系流域ネットワーク様
- NPO 法人 湘南 NPO サポートセンター
- お弁当自慢コンテスト企画部会
- センターまつり実行委員

ひらつか市民活動センターまつり実行委員会 / ひらつか市民活動センター / 平塚市協働推進課

センター情報

● 団体活動にお役立てください!

市民活動応援講座「事業計画・予算の立て方」

新年度を控え市民活動団体に求められるのは、ポストコロナを意識した事業計画・予算づくりです。この講座で、事業計画と予算づくりの必要性と作り方のノウハウを学んでみませんか?
 日時 ● 2月11日(金) 13:30~15:30 講師 ● 手塚 明美氏 (認定NPO法人 藤沢市民活動推進機構 理事長)
 対象 ● NPO法人・市民活動団体・関心のある市民 定員 ● 20名 参加費 ● 無料

市民活動応援講座「NPOの世代交代～継承とモデルチェンジ～」

NPO法施行後20数年を経て、代表者の高齢化とともに後継者不足が問われる昨今、カリスマ的初代理事長からバトンを受け、NPO法人NPOフュージョン長池の理事長に就任された田所氏を講師に迎え、世代交代を行うまでの経緯や覚悟、事業を継承する上での留意点について伺います。
 日時 ● 2月23日(水・祝) 13:30~15:30 講師 ● 田所 喬氏 (NPO法人NPOフュージョン長池 理事長)
 対象 ● NPO法人・市民活動団体 定員 ● 20名程度 参加費 ● 無料

ひらつか市民活動センター「利用団体交流会」

年に一度開催する、センター利用団体との交流会。今年はSDGsのカードゲームを使って楽しく交流します。お気軽にご参加ください。
 日時 ● 2月27日(日) 13:30~16:00 ゲスト ● 一般社団法人SISA代表 小野利隆氏
 対象 ● 市民活動団体・関心のある方 定員 ● 30団体程度 参加費 ● 無料



集まれ! ボランティア! シニアのマッチング交流会

70歳定年時代を迎え、働くシニアが増える一方で、現役時代には出来なかった社会貢献活動にチャレンジしたい方も増えています。交流会ではそのような方々とボランティアの受け入れを希望するNPO法人・市民活動団体とのマッチングを進めます。
 日時 ● 3月21日(月・祝) 13:30~15:30
 対象 ● ボランティア活動をやってみたい方 定員 ● 20名程度 参加費 ● 無料



平塚市情報

● ロッカー・レターケース申込受付開始!!



令和4年度利用申込受付を開始します。利用できるのはセンターに市民活動団体登録している団体です。現在利用中の団体も、継続利用を希望する場合は申込みが必要です。応募多数の場合は抽選となります。申込書は市民活動センターで配布しています。また、センターホームページからもダウンロードできます。
 申込期限 ● 令和4年3月6日(日) 申込先 ● ひらつか市民活動センター(郵送、FAX、E-Mail可 ※電話不可)
 募集個数と利用料金 ● *ロッカー(大)…18個 300円/月 *ロッカー(小、小別)…40個 200円/月
 *レターケース…81個 利用料無料

編集後記

令和4年3月26日、ひらつか市民活動センターの西側に、平塚市民待望の新ホール「ひらしん平塚文化芸術センター」がオープンします。文化・芸術の振興・発展に向けて、センターとしても関係者の皆様と一緒に盛り上げていきたいと思っております。本年もスタッフ一同よろしくお願いたします。(さ)

編集・発行

ひらつか市民活動センター

(開館時間 9:00~22:00 年末年始、施設点検日を除く)

〒254-0045
 神奈川県平塚市見附町1-8
 TEL ● 0463-31-7571 FAX ● 0463-35-6601
 Eメール ● info@hiratsuka-shimin.net
 URL ● http://hiratsuka-shimin.net

センター登録団体数(2021年12月10日現在)
 登録団体数 ● 453団体
 (内訳 市民活動団体…329団体、一般団体…124団体)

